

公益社団法人化学工学会 粒子・流体プロセス部会
2012 年度総会・部会賞表彰式

日時：2012 年 3 月 16 日 17:00～

会場：工学院大学 （化学工学会 第 77 年会 M 会場）

議題：

1. 2011 年度部会・分科会活動報告【資料 1】
（担当：部会長、各分科会代表）
 2. 女性・若手育成プロジェクトの実施報告【資料 2】
（担当：鷲見副部会長）
 3. 部会賞について【資料 3】
（担当：上ノ山副会長）
 4. 2011 年度決算について【資料 4】
（担当：部会事務局）
 5. 2012 年度部会・分科会活動計画【資料 5】
（担当：部会長、各分科会代表）
 6. 2012 年度予算について【資料 6】
（担当：部会事務局）
 7. 2012 年度幹事会役員ならびに役割分担について【資料 7】
（担当：上ノ山 2012 年度部会長）
 8. 会員状況について【資料 8】
 9. その他
- 部会賞表彰式 （総会終了後（17:45 頃～（予定））
（担当：上ノ山副会長）

以上

粒子・流体プロセス部会 2011年度(2011年3月～2012年2月)活動報告書

2012年2月24日

1. 国際関連事業

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者		
				国内	国外	合計
9月10～12日	The 2nd international symposium on "Multi-scale Simulations of Biological and Soft Materials" (MSBSM 2011)	【主催】本国際会議 実行委員会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会	京都大学 芝欄会館・ 稲森ホー ル	60	11	71
10月4～7日	1st International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering (MMPE)	【主催】粒子・流体 プロセス部会気泡・ 液滴・微粒子分散 工学分科会	金沢文化 ホール	88	25	113
12月15～16日	第3回日韓粉体技術シンポジウム	【主催】日本粉体工 業技術協会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	春川大学 (韓国)	31	30	61

2. シンポジウム・講演会などの行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
6月3～4日	分離技術会年会2011	【主催】分離技術会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会	明治大学 生田キャンパス	358名
3月17日	第2回先端微粒子ハンドリング講演会	【主催】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	岡山大学 津島キャンパス	17名
3月21日	粒子・流体プロセス部会セミナー	【主催】粒子・流体 プロセス部会	東京農工大学 小金井キャン パス	東日本大震災のため中止
7月14日	粉体工学会2011年度第1回計算粉体力学研究会	【主催】粉体工学会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会	同志社大学 今出川キャン パス	31名
8月30～31日	粒子・流体プロセス部会平成23年度ミキシング技術分科会夏期セミナー	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	JR博多シティ会 議室	73名

9月7日	第3回先端微粒子ハンドリング講演会	【主催】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	京都大学 吉田キャンパス	10名
9月13日	熱流体工学セミナー2011	【主催】粒子・流体 プロセス部会熱物 質流体工学分科会	名古屋工業大学	25名
10月17日	第4回先端微粒子ハンドリング講演会	【主催】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	大阪アカデミア	9名
11月2日	第20回東日本地区ミキシングサロン	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	横浜国立大学	38名
11月12日	粉体工学会2011年度第2回計算粉体力 学研究会	【主催】粉体工学会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会	同志社大学 今出川キャン パス	17名
11月21～22 日	第17回流動化・粒子プロセッシングシン ポジウム	【主催】粒子・流体 プロセス部会流動 層分科会	名古屋大学 野依記念学術交 流館	94名
12月2日	第21回関西・東海地区ミキシングサロン	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	大阪大学豊中キ ャンパス	33名
12月20日	第16回九州地区ミキシングサロン	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	九州大学西新ブ ラザ	20名
12月20日	粉体工学会粉砕の高度利用研究会	【主催】粉体工学会 【協賛】粒子流体プ ロセス部会	兵庫県立大学 新在家キャン パス	25名

3. 本部大会・支部行事関連行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
9月14～15日	化学工学会第43回秋季大会 先端粉体プロセス技術－粒子設計，機 能化，計測評価と単位操作	【主催】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	名古屋工業大学 E会場	50名
9月14～15日	化学工学会第43回秋季大会 ミキシング技術の最前線	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	名古屋工業大学 R会場	40名
9月14～15日	化学工学会第43回秋季大会 気泡・液滴・微粒子分散工学2011	【主催】粒子・流体 プロセス部会	名古屋工業大学 X会場	50名

9月14～15日	化学工学会第43回秋季大会 プロセス強化実現に向けたダイナミックな 反応と移動現象の応用	【共催】粒子・流体 プロセス部会熱物 質流体工学分科会	名古屋工業大学 K会場	40名
9月15～16日	化学工学会第43回秋季大会 プラズマプロセッシングによる化学工学 の新展開	【共催】粒子・流体 プロセス部会熱物 質流体工学分科会	名古屋工業大学 G会場	30名

4. 講習会などの啓発活動

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
10月5～7日	粒子・流体プロセス部会技術コース 2011 (第25回流動層技術コース)	【主催】粒子・流体 プロセス部会流動 層分科会	産業技術総合研 究所つくば西事 業所 東京工業高等専 門学校	6名
12月2日	若手研究者のための交流ランチ会	【主催】粒子・流体 プロセス部会	学士会館	24名

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

月日	出版物名	出版社	発行部数
9月30日	Mixing Technology Now No.16		200部

6. 受託事業の推進

月日	テーマ	委託元	参加人数	期間

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

月日	発行物	発行部数
11月9日	粒子・流体プロセス部会ニュースレター	メール配信とWEB
5月30日	気液固分散工学ニュースレター(第5号)	メール配信とWEB
12月26日	気液固分散工学ニュースレター(第6号)	メール配信とWEB

以上

平成 24 年 3 月 16 日

＜女性・若手育成プロジェクト＞報告書

名称：若手研究者のための交流ランチ会

形式：パネルディスカッションおよびランチ会

目的：PD、博士課程学生、将来博士課程進学を考えている学生を対象とし、企業で活躍中の博士号取得技術者と直接交流することによって、博士課程への進学および博士終了後のキャリアアップに対する当該学生のイメージアップを図る。

対象：PD、博士課程学生、将来博士課程進学を考えている修士・学部学生

日程：2011年12月2日（金）12時開場 12時30分開始（2時間程度）

場所：学士会館

趣旨：昨年度、関西で開催された「女性研究者・技術者の育成および交流を目的としたパネルディスカッションおよびランチ会」に引き続き、女性・若手育成プロジェクトの第2弾として企画した。PD、博士課程学生、将来博士課程進学を考えている学生を対象として、企業で活躍中の博士号取得技術者を講師として招くことによって、博士課程終了後のキャリアアップについて大いに夢を持ってもらうことを目的とした。

パネラー：

三菱マテリアル(株) 中央研究所反応プロセス開発センター 林 浩志 氏

新日本製鐵(株) 技術開発本部 環境・プロセス研究開発センター三尾 浩氏

(株)カネカ 生産技術研究所 生産技術研究グループ 平野 優氏

参加者：24名（東京大学および早稲田大学の学生が多数参加）

実施内容：

パネラー及び参加者の自己紹介に引き続き、パネラーの略歴と現在の仕事を紹介していただき、学生からの質問を受ける形式でパネルディスカッションを実施した。特に、博士課程修了者の企業での仕事や将来の進路等について、パネラーから経験と心得等を語っていただき、学生からも多数の質問もあり、有意義な意見交換ができた。

以上

2011 年度化学工学会 粒子・流体プロセス部会賞（敬称略）

シンポジウム賞 担当 太田 光浩

（プレゼンテーション賞）平成 23 年 10 月 1 日付 賞状（+副賞の額）を発送済み。

神戸大学 江崎 竜行「空間変動操作による酢酸ビニルの乳化重合プロセス強化」

金沢大学 辻 将之「レーザーオープン法における粒子生成過程の温度制御粒子形態に及ぼす影響」

山形大学 芦野 千尋「気液分散が及ぼす高粘度液の混合への影響」

名古屋大学 羽根田晃一「気泡塔へのマイクロバブルの分散によるエマルジョンからの油分分離」

（奨励賞）平成 24 年 3 月 16 日 総会時に表彰。受賞記念講演は部会セッションにて執行。

大阪大学 名嘉山 祥也「複合材料の混合状態の定量化：多階層スケールの不均一性」

フロンティア賞 担当 梶原 稔尚

平成 24 年 3 月 16 日 総会時に表彰。受賞記念講演は部会セッションにて執行。

弘前大学 官 国清

東京大学（現東京農工大学） 伏見 千尋

東京大学 中村 有 石束 真典 堤 敦司

産業技術総合研究所 松田 聡 鈴木 善三 幡野 博之

シンガポール国立大学 Yongpan Cheng Eldin Wee Chuan Lim Chi-Hwa Wang

「Flow behaviors in the downer of a large-scale triple-bed combined circulating fluidized bed system with high solids mass fluxes」

技術賞 担当 筒井 俊雄

平成 24 年 3 月 16 日 総会時に表彰、受賞記念講演を執行。

月島機械株式会社 寺腰 和由

三機工業株式会社 廣瀬 均

前 独立行政法人 土木研究所 岡本 誠一郎

独立行政法人 産業技術総合研究所 鈴木 善三

「下水汚泥の加圧流動焼却システムの実用化」

動画賞 担当 本間 俊司

平成 24 年 3 月 16 日総会時に表彰、作品鑑賞会を執行。

（研究部門）

鹿児島大学 甲斐 敬美 田代 祐也 中里 勉

「流動化ガスの切り換えによって起きる非流動化現象の可視化」

（技術部門）

旭有機材工業株式会社 花田 敏広 岡田 貴弘 山田 崇 李 勝利

黒田 健司

「流体の流れ方向の濃度ムラを効果的に均一化できる静止型ミキサの検討」

（教育部門）

広島大学 萩 崇 奥山 喜久夫

「研究および教育のためのエアロゾル挙動の可視化」

以上

平成23年度 粒子・流体プロセス部会決算書

粒子・流体プロセス部会

部長 齋藤文良



粒子・流体プロセス部会 損益計算書

(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)

(単位:円)

科目・内訳	予算	決算	差異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	832,000	760,000	72,000	
部会個人会員会費			0	
部会法人会員会費			0	
部会学生会員会費			0	
個人賛助会員	32,000	35,000	-3,000	
法人賛助会員	800,000	725,000	75,000	
② 事業収入	500,000	0	500,000	
セミナー収入	500,000	0	500,000	
③ 分科会収入	3,630,000	3,365,613	264,387	
熟物質流体工学分科会収入	180,000	72,500	107,500	
ミキシング技術分科会収入	1,230,000	1,708,000	-478,000	
気液固分散工学分科会収入	20,000	0	20,000	
流動層分科会収入	2,000,000	1,585,113	414,887	
粉体プロセス分科会収入	200,000	0	200,000	
④ 雑収入	0	50	-50	
⑤ 利息収入	5,000	1,184	3,816	
粒子・流体プロセス部会利息収入	1,000	180	820	
熟物質流体工学分科会利息収入	1,000	128	872	
ミキシング技術分科会利息収入	1,000	324	676	
気液固分散工学分科会利息収入	1,000	215	785	
流動層分科会利息収入	1,000	239		
粉体プロセス分科会利息収入	1,000	98		
⑥ 他会計からの繰入金	550,000	1,511,249	-961,249	
本部より(共催金)	0	778,000	-778,000	
部会交付金(本部より)	550,000	733,249	-183,249	
秋季大会還付金収入		0	0	
事業活動収入計	5,517,000	5,638,096	-121,096	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	700,000	184,219	515,781	
講演会経費	200,000	149,724	50,276	
セミナー経費	300,000	0	300,000	
部会賞表彰経費	200,000	34,495	165,505	
② 分科会事業費	4,430,000	3,523,599	906,401	
熟物質流体工学分科会事業費	230,000	104,178	125,822	
ミキシング技術分科会事業費	1,430,000	1,550,634	-120,634	
気液固分散工学分科会事業費	270,000	144,111	125,889	
流動層分科会事業費	2,200,000	1,337,463	862,537	
粉体プロセス分科会事業費	300,000	387,213	-87,213	
③ 管理費支出	350,000	466,223	-116,223	
会議費	50,000	69,100	-19,100	理事会、幹事会費用他
旅費交通費	100,000	59,000	41,000	
通信運搬費	20,000	6,240	13,760	
消耗品費	30,000	35,926	-5,926	
IT化費	0	50,000	-50,000	
雑費	20,000	15,857	4,143	振込手数料他
人件費(アルバイト)	130,000	230,100	-100,100	
④ 他会計への繰出金	30,000	733,249	-703,249	
化学工学会本部への繰出(含共催)	30,000	733,249	-703,249	
事業活動支出計	5,510,000	4,907,290	602,710	
3. 事業活動収支差額	7,000	730,806	-723,806	
II. 投資活動収支の部				
1. 特定資産取崩収入			0	
2. 特定資産取得支出		3,943	-3,943	
3. 投資活動収支差額	0	-3,943	3,943	
当期収支差	7,000	726,863	-719,863	
前期繰越金		2,940,965	-2,940,965	
次期繰越金		3,667,828	-3,667,828	

粒子・流体プロセス部会 貸借対照表

(平成24年2月29日現在)

(単位:円)

科目・内訳	当年度末	前年度末	増減	備考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金	5,849	0	5,849	
預金	3,661,979	2,940,965	721,014	
部会事務局 普通預金 荘内銀行仙台支店	765,759	343,331	422,428	
熱物質分科会 普通預金 西日本銀行周船寺支店	255,963	201,645	54,318	
ミキシング技術分科会 普通預金 福岡銀行周船寺支店	438,506	168,757	269,749	
気液固分散工学分科会 普通預金 三井住友銀行鹿児島支店	140,164	253,381	-113,217	
流動層分科会 普通預金 鹿児島銀行 鴨池支店	1,797,079	1,470,705	326,374	
粉体プロセス分科会 普通預金 ゆうちょ銀行五四八	264,508	503,146	-238,638	
未収金			0	
前払い金			0	
流動資産合計	3,667,828	2,940,965	726,863	
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
ミキシング技術分科会行事積立資産				
普通預金 福岡銀行 周船寺支店	1,700,000	1,700,000	0	
気液固分散工学分科会事業積立資産				
普通預金 三井住友銀行 鹿児島支店	1,150,000	1,150,000	0	
熱物質流体工学分科会事業積立資産				
普通預金 西日本銀行 周船寺支店	619,156	619,156	0	
流動層分科会事業積立資産	571,435	567,541	3,894	
普通預金 第四銀行 内野支店	0	49	-49	
普通預金 常陽銀行 北竜台支店	571,435	567,492	3,943	
普通預金 三菱東京UFJ銀行 代々木上原支店	0	0	0	
特定資産計	4,040,591	4,036,697	3,894	
固定資産合計	4,040,591	4,036,697	3,894	
資産合計	7,708,419	6,977,662	730,757	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
	0	0	0	
負債合計	0	0	0	
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	
2. 一般正味財産	7,708,419	6,977,662	730,757	
正味財産合計	7,708,419	6,977,662	730,757	
負債及び正味財産合計	7,708,419	6,977,662	730,757	

上記 損益計算書、貸借対照表を監査し、適切と認めます。

粒子・流体プロセス部会監事

平成24年 月 日

印

平成24年 月 日

印

粒子・流体プロセス部会 2012 年度(2012 年 3 月～2013 年 2 月)事業計画書

2012 年 1 月 10 日

1. 国際関連事業

2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・部会セミナー
 - ・熱物質流体工学セミナー
 - ・ミキシング技術夏期セミナー
 - ・ミキシングサロン
 - ・気液固分散工学セミナー
 - ・流動化・粒子プロセッシングシンポジウム
 - ・先端微粒子ハンドリング講演会

3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・第 44 回秋季大会(東北大学)

4. 講習会などの啓発活動
 - ・技術コース

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

6. 受託事業の推進

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・部会ニュースレター
 - ・気液固分科会ニュースレター
 - ・ミキシングテクノロジーNow の発行

8. その他
 - ・部会賞の公募, 審査・授与

第44回秋季大会シンポジウム

シンポジウム1	シンポジウム2	シンポジウム3	シンポジウム4
和文:粉体プロセス技術の新展開—基礎現象、基礎技術から単位操作、応用例まで	和文:精密高度化・多様化するミキシング技術	和文:熟物質流体工学の最前線	和文:気泡・液滴・微粒子分散工学2012
英文:Development of powder process technology from fundamental phenomena and technologies to their applications	英文:Precisely Developed and Diversifying Mixing Technology	英文:Cutting Edge Technologies for Transport Phenomena and Fluid Engineering	英文:Bubble, Drop and Particle Dispersion Engineering 2012
粒子状物質は、粉体や気相中のエアロゾル、液相中に浮遊したサスペンション、スラリーなどの状態で幅広い分野で取り扱われている。本シンポジウムでは、それら粒子を取り扱う粉体プロセス技術について、基礎現象、測定・計測などの基礎技術から、実プロセスへの応用例まで、幅広く最近の研究結果を挙げて、その報告と討論を行いたい。	近年、製品のさらなる品質向上を目指した従来とは異なる新たな方式による攪拌技術の開発などによりミキシング技術の多様化が進んでいる。また、攪拌装置内の流動、混合状態の計測法および数値シミュレーションを含む解析法の精密高度化、多様化により従来とは異なる視点から装置の評価、設計がなされるようになってきている。本シンポジウムではそれら最先端の攪拌技術、計測法、解析法の関	化学装置内で起こる熱・物質・流体の移動現象を明らかにすることは化学プロセスの設計および運転において極めて重要である。近年、高度な計測および数値シミュレーション技術の発展により複雑な移動現象へのアプローチが可能になってきた。本シンポジウムでは、混相流、乱流、反応流、複雑流体など移動現象の諸問題を対象とし、その計測ならびに計算技術の最新成果、および複雑な移動現象の解	連続液相中への気泡、液滴および粒子の分散、あるいは連続気相中への液滴の分散挙動の解明は、ガス吸収器、溶媒抽出、バイオリアクター、マイクロリアクターをはじめとする装置設計や操作に非常に重要である。さらにマイクロバブルやエマルションなどの応用にも欠かせません。このような重要課題の解決には、相界面の挙動や各相の流動・熱物質移動解析、計測技術・実験手法の提案、CFDを駆使した推
Particulate materials exist as as a powder, aerosol, suspension, slurry and so on. In this symposium, the fruits of recent research on fundamental phenomena and/or fundamental technologies of the particulate materials and their application to a process will be reported and discussed.	Recently, new mixing systems have been developed and mixing technology is diversifying. In addition, evaluation and design of mixing equipments from new view points by means of highly developed methods of measurements and analyses including methods of numerical simulations. In this symposium, presentations on the new mixing technologies, methods of	Cutting edge technologies of measurements and computations for transport phenomena associated with heat and mass transfer, multiphase flows, turbulent flows, reactive flows, complex fluids, etc. will be presented as well as the results obtained by these technologies. Applications exploiting the results will also be included.	The understanding of the dynamic motion of dispersed bubbles, drops and particles in suspending fluids is very important to the design and operation of gas absorption equipment, liquid-liquid extractions, bioreactors, microreactors, etc. Such knowledge is also essential for practical applications of microbubbles and emulsions and so on. In this
粉体プロセス分科会	ミキシング技術分科会	熟物質流体工学	気泡・液滴・微粒子分散工学分科会
氏名(フリガナ):後藤邦彰(ゴトウクニアキ)	氏名(フリガナ):吉川史郎(ヨシカワ シロウ)	氏名(フリガナ):本間俊司(ホンマジュンジ)	氏名(フリガナ):太田光浩(オオタミツヒロ)
所属:岡山大学自然科学研究科	所属:東京工業大学	所属:埼玉大学大学院理工学研究科	所属:室蘭工業大学
e-mail: gotoh@cc.okayama-u.ac.jp	e-mail: syoshika@chemeng.titech.ac.jp	e-mail: honma@apc.saitama-u.ac.jp	e-mail: mohta@mmm.muroran-it.ac.jp
氏名(フリガナ):松山 達(マツヤマタツシ)	氏名(フリガナ):西岡光利(ニシオカ ミツトシ)	氏名(フリガナ):松隈洋介(マツカマヨウスケ)	氏名(フリガナ):島田 直樹(シマダ ナオキ)
所属:創価大学工学部	所属:佐竹化学機械工業株式会社	所属:九州大学大学院工学研究院化学工学部門	所属:住友化学(株)
e-mail: tatsushi@t.soka.ac.jp	e-mail: m.nishioka@satake.co.jp	e-mail: ymatsu@chem-eng.kyushu-u.ac.jp	e-mail: shimadan@sc.sumitomo-chem.co.jp
氏名(フリガナ):福井国博(フクイニヒロ)	氏名(フリガナ):庄野厚(シウノ アツシ)	氏名(フリガナ):山本量一(ヤマモトリヨウイチ)	氏名(フリガナ):水田 敬(ミヅタ ケイ)
所属:広島大学工学研究科	所属:東京理科大学	所属:京都大学大学院工学研究科化学工学専攻	所属:鹿児島大学
e-mail: kfukui@hiroshima-u.ac.jp	e-mail: ashono@ci.kagu.tus.ac.jp	e-mail: ryochi@cheme.kyoto-u.ac.jp	e-mail: knizuta@cen.kagoshima-u.ac.jp
氏名(フリガナ):	氏名(フリガナ):仁志和彦(ニシ カズヒコ)	氏名(フリガナ):木原伸一(キハラシンイチ)	氏名(フリガナ):藤岡 沙都子(フジオカ サトコ)
所属:	所属:横浜国立大学	所属:広島大学大学院工学研究院	所属:慶應義塾大学
e-mail:	e-mail: nishi@ynu.ac.jp	e-mail: snkihara@hiroshima-u.ac.jp	e-mail: fujioka@applic.keio.ac.jp
氏名(フリガナ):後藤邦彰(ゴトウクニアキ)	氏名(フリガナ):吉川史郎(ヨシカワ シロウ)	氏名(フリガナ):本間俊司(ホンマジュンジ)	氏名(フリガナ):太田光浩(オオタミツヒロ)
所属:岡山大学自然科学研究科	所属:東京工業大学大学院理工学研究科化学工学	所属:埼玉大学大学院理工学研究科	所属:室蘭工業大学
電話:086-251-8084 Fax:086-251-8085	電話:03-5734-3278 Fax:03-5734-3278	電話:048-858-3510 Fax:048-858-3510	電話:0143-47-0162 Fax:0143-47-0162
e-mail: gotoh@cc.okayama-u.ac.jp	e-mail: syoshika@chemeng.titech.ac.jp	e-mail: honma@apc.saitama-u.ac.jp	e-mail: mohta@mmm.muroran-it.ac.jp
0 件程度	0件程度	0 件程度	0件程度
行う	行う	行う	行う
口頭	口頭	口頭	口頭
()とくに希望なし	()とくに希望なし	()とくに希望なし	()とくに希望なし
(○)1日目 午前(9:00-12:00)	(○)1日目 午前(9:00-12:00)	(○)1日目 午前(9:00-12:00)	(○)1日目 午前(9:00-12:00)
(○)1日目 午後(13:00-17:00)	(○)1日目 午後(13:00-17:00)	(○)1日目 午後(13:00-17:00)	(○)1日目 午後(13:00-17:00)
(○)2日目 午前(9:00-12:00)	(○)2日目 午前(9:00-12:00)	(△)2日目 午前(9:00-12:00)	(○)2日目 午前(9:00-12:00)
(○)2日目 午後(13:00-15:00)	(○)2日目 午後(13:00-15:00)	(△)2日目 午後(13:00-15:00)	(○)2日目 午後(13:00-15:00)
()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)
()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)
(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)
第一希望:中	第一希望:小	第一希望:中	第一希望:中
第二希望:小	第二希望:	第二希望:小	第二希望:大
口頭・ポスター	口頭・ポスター	口頭・ポスター	口頭・ポスター
()とくに希望なし	()とくに希望なし	()とくに希望なし	()とくに希望なし
()1日目 午前(9:00-12:00)	()1日目 午前(9:00-12:00)	()1日目 午前(9:00-12:00)	()1日目 午前(9:00-12:00)
()1日目 午後(13:00-17:00)	()1日目 午後(13:00-17:00)	()1日目 午後(13:00-17:00)	()1日目 午後(13:00-17:00)
()2日目 午前(9:00-12:00)	()2日目 午前(9:00-12:00)	()2日目 午前(9:00-12:00)	()2日目 午前(9:00-12:00)
()2日目 午後(13:00-15:00)	()2日目 午後(13:00-15:00)	()2日目 午後(13:00-15:00)	()2日目 午後(13:00-15:00)
()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)
()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)
(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)
第一希望:	第一希望:	第一希望:	第一希望:
第二希望:	第二希望:	第二希望:	第二希望:

平成24年度 部会 収支予算書				
(平成24年3月1日から平成25年2月28日まで)				
粒子・流体プロセス部会				
部長 齋藤 文良 印				
(単位:円)				
科目・内訳	H24年度予算	H23年度予算	差異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	784,000	832,000	-48,000	
部会個人会員会費			0	本部へ入金
部会法人会員会費			0	
部会学生会員会費			0	免除
個人賛助会員	34,000	32,000	2,000	化学工学会非会員
法人賛助会員	750,000	800,000	-50,000	化学工学会非会員
② 事業収入	50,000	500,000	-450,000	
セミナー収入	50,000	500,000	-450,000	
			0	
③ 分科会収入	3,700,000	3,630,000	70,000	
熱物質流体工学分科会収入	150,000	180,000	-30,000	
ミキシング技術分科会収入	1,200,000	1,230,000	-30,000	
気液固分散工学分科会収入	250,000	20,000	230,000	
流動層分科会収入	2,000,000	2,000,000	0	
粉体プロセス分科会収入	100,000	200,000	-100,000	
④ 雑収入	0	0	0	
⑤ 利息収入	5,000	5,000	0	
粒子・流体プロセス部会利息収入	1,000	1,000	0	
熱物質流体工学分科会利息収入	1,000	1,000	0	
ミキシング技術分科会利息収入	1,000	1,000	0	
気液固分散工学分科会利息収入	1,000	1,000	0	
流動層分科会利息収入	1,000	1,000	0	
粉体プロセス分科会利息収入	1,000	1,000	0	
⑥ 他会計からの繰入金	550,000	550,000	0	
本部より(共催金)		0	0	
部会交付金(本部より)	550,000	550,000	0	
秋季大会還付金収入			0	
事業活動収入計	5,089,000	5,517,000	-428,000	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	700,000	700,000	0	
講演会経費	200,000	200,000	0	
セミナー経費	300,000	300,000	0	
部会賞表彰経費	200,000	200,000	0	
② 分科会事業費	3,860,000	4,430,000	-570,000	
熱物質流体工学分科会事業費	200,000	230,000	-30,000	
ミキシング技術分科会事業費	1,300,000	1,430,000	-130,000	
気液固分散工学分科会事業費	60,000	270,000	-210,000	
流動層分科会事業費	2,100,000	2,200,000	-100,000	
粉体プロセス分科会事業費	200,000	300,000	-100,000	
③ 管理費支出	350,000	350,000	0	
会議費	50,000	50,000	0	理事会、幹事会費用他
旅費交通費	100,000	100,000	0	
通信運搬費	20,000	20,000	0	
消耗品費	30,000	30,000	0	
図書費	0	0	0	
雑費	20,000	20,000	0	振込手数料他
人件費(アルバイト)	130,000	130,000	0	
④ 他会計への繰出金	30,000	30,000	0	
化学工学会本部への繰出(含共催)	30,000	30,000	0	
			0	
事業活動支出計	4,940,000	5,510,000	-570,000	
3. 事業活動収支差額	149,000	7,000	142,000	
II. 投資活動収支の部				
1. 特定資産取崩収入			0	
2. 特定資産取得支出			0	
3. 投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差	149,000	7,000	142,000	
前期繰越金			0	
次期繰越金			0	

平成24年度 化学工学会 粒子・流体プロセス部会 役員案(2012年3月16日)

	2012年度	所属	担当	分科会
部会長	上ノ山 周	横浜国立大学		
副部会長	梶原 稔尚	九州大学	部会賞担当兼 フロンティア賞担 当	ミキシング技術 監事
	後藤 邦彰	岡山大学	行事担当兼 部会セミナー担 当	粉体プロセス 代表
	竹田 宏	アールフロー	広報担当, ホー ムページ担当	
	鷲見 泰弘	カネカ	若手・女性育成 プロジェクト担当	
幹事	本間 俊司	埼玉大学	ニュースレター担 当(正)	熱物質流体工学 代表
	吉川 史郎	東京工業大学	部会セミナー担 当(正)	ミキシング技術 代表
	太田 光浩	室蘭工業大学	シンポジウム賞 担当	気泡・液滴・微粒子分 散工学代表
	筒井 俊雄	鹿児島大学	技術賞担当	流動層 代表
	後藤 邦彰 (再掲)	岡山大学	副部会長	粉体プロセス 代表
	松隈 洋介	九州大学	国際会議(IWPI) 担当(副)	熱物質流体工学 副代表
	西岡 光利	佐竹化学機械工業	若手・女性育成 プロジェクト担当	ミキシング技術 副代表
	島田 直樹	住友化学	動画賞担当	気泡・液滴・微粒子分 散工学副代表
	野田 怜司	群馬大学	会員増強担当	流動層 副代表
	福井 国博	広島大学	ニュースレター担 当(副)	粉体プロセス 副代表
企画幹事	鈴木 洋	神戸大学	国際会議(IWPI) 担当(正)	
	伊藤 光弘	太平洋セメント	若手・女性育成 プロジェクト担当	
	亀井 登	ダイセル	若手・女性育成 プロジェクト担当	
	所 千晴	早稲田大学	若手・女性育成 プロジェクト担当	
監事	齋藤 文良	東北大学		
	脇屋 和紀	大川原製作所		
事務局	仁志和彦	横浜国立大学		

会員状況について

◆部会会員状況（2012年3月6日現在）

	個人会員	特別法人会員	特別個人会員 A	特別個人会員 B
2010年4月	709	36	7	5
2010年8月	740	34	8	5
2011年3月	733	34	9	5
2011年8月	745	32	9	5
2011年3月	745	32	10	5